鹿児島公有林野官行造林署について

○ 鹿児島公有林野官行造林署の歴史

大正9年9月25日の公有林野官行造林法が公布に先立ち、大正9年9月20日、全国に10（一関、秋田、前橋、岐阜、大阪、岡山、鳥取、山口、佐賀、鹿児島）の公有林野官行造林署が設置されました。

その際、鹿児島大林区署管内では、鹿児島大林区署と同地の鹿児島市長田町に鹿児島公有林野官行造林署を設置、鹿児島県内の官行造林業務を行うこととされ、他県分については各小林区署が業務を行うこととなりました。

大正11年5月に延岡公有林野官行造林署が設置され、宮崎県内及び大分県内の一部の官行造林が各小林区署から延岡公有林野官行造林署の所掌となった際に、鹿児島県内のうち、大島小林区署管内の官行造林については、鹿児島公有林野官行造林署から大島小林区署に所掌が移りました。

大正13年12月、官制改正により、大林区署が営林局に、小林区署が営林署となる際、公有林野官行造林署は廃止となり、業務は各営林署に移管されました。

その際、鹿児島大林区署は熊本大林区署に統合され熊本営林局となり、鹿児島公有林野官行造林署の業務については、鹿児島営林署ほか鹿児島県内の営林署に移管されました。また、鹿児島大林区署と同地にあった鹿児島公有林野官行造林署のあとに、谷山村にあった鹿児島小林区署が鹿児島営林署として入りました。

○ 担当区

公有林野官行造林署は、小林区署の保護区（現在の担当区に相当）とは別の担当区が設定され、鹿児島公有林野官行造林署は、鹿屋・川内・宮之城・甕島の4つの担当区が設けられていました。